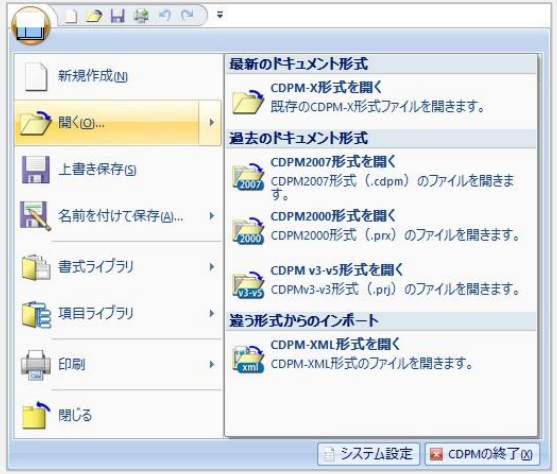
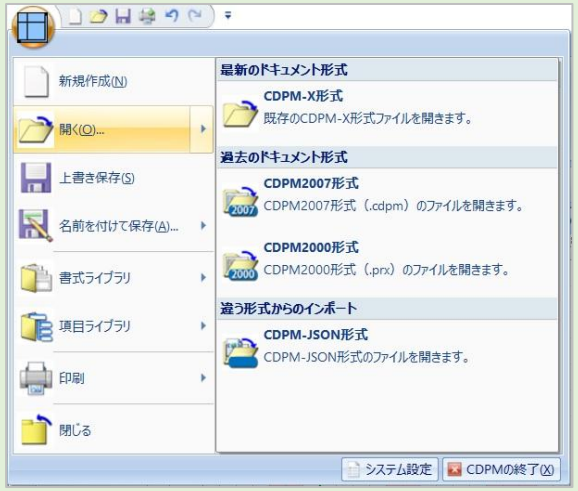
CDPM-XとCDPM-X64比較一覧表

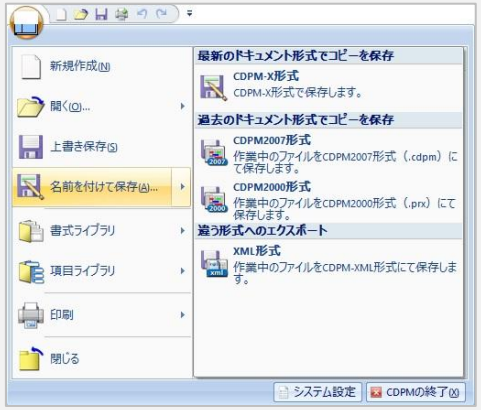
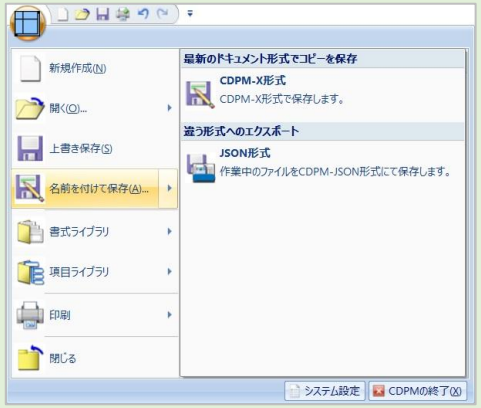
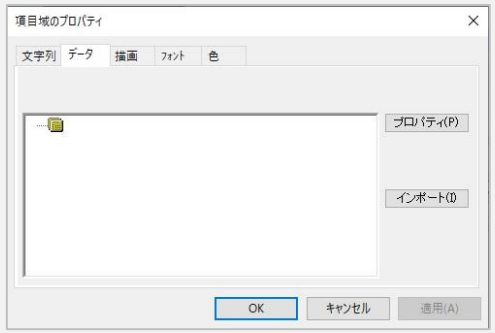
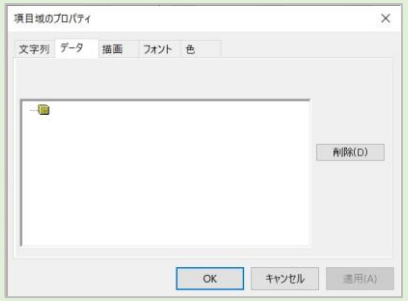
株式会社かねこ

2026年6月15日版

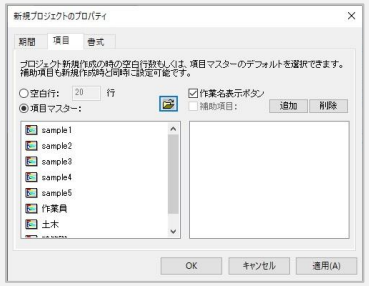
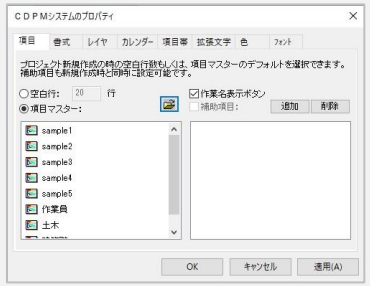
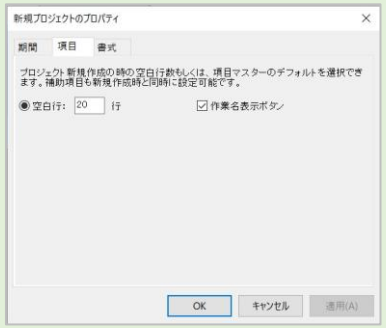
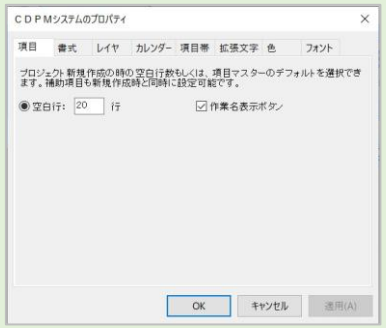
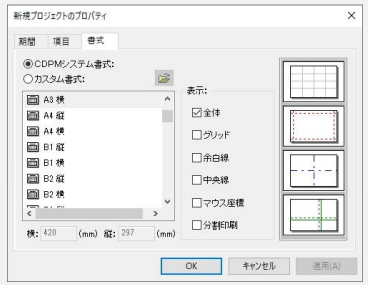
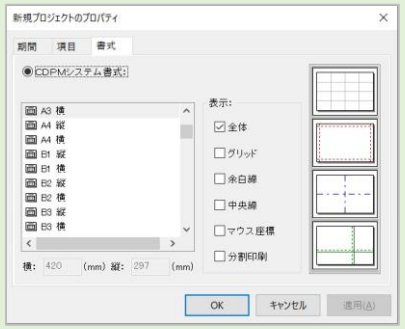
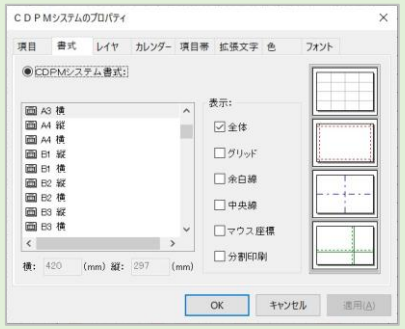
CDPM-Xsp3とCDPM-X64比較一覧表

	CDPM-Xsp3	**CDPM-X64**
対応OS	Windows8.1/Windows10	**Windows11 64bit版 23H2 ビルド22631以降 ※Windows11 64bit版 22H2 ビルド22621までのOSは対象以外**
bit	32bit	**64bit**
ハードウェア		**AVX2対応CPU（インテル） ハードウェア性能をアプリから確認できるパソコン ※仮想PCでのご利用不可**
ブラウザ	I/E（MSHTML）	**Edge（WebView2）**
デフォルトの モジュール保存先	C:￥Windows￥SysWOW64	**PC￥ドキュメント￥CDPM-X**
旧データを開く	CDPMVer3.0-5.0、CDPM2000、CDPM2007  	**CDPM2000、CDPM2007 CDPM-Xとは拡張子が同じ・相互互換性あり** 

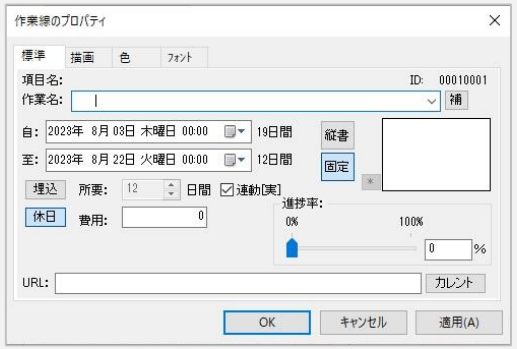
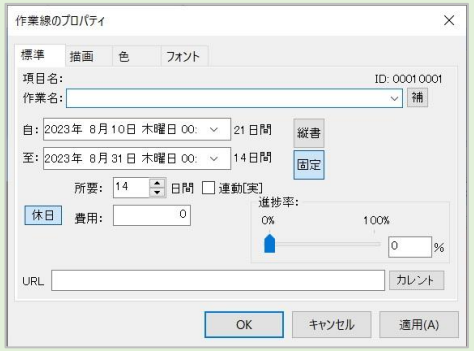
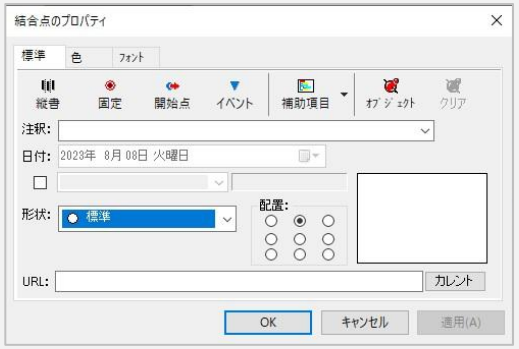
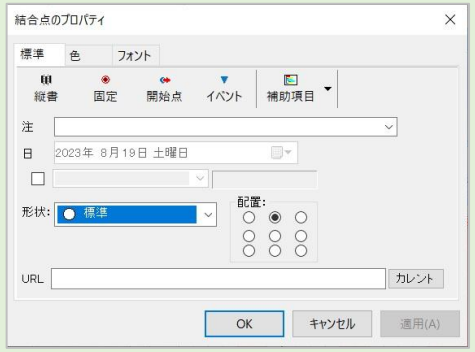
CDPM-Xsp3とCDPM-X64比較一覧表

	CDPM-Xsp3	**CDPM-X64**
保存形式	CDPM2000(.prj)、CDPM2007(.cdpm) CDPM-X(.cdpx)、CDPM-XML形式 	**CDPM-X(.cdpx)、CDPM-JSON形式** **※Json形式はクラウドデータや生成A1とのやりとりがスムーズに行える形式** 
機能	CDPM-XML形式で保存	**CDPM-XML形式は終了　CDPM-JSON形式を追加**
	工程文字データを項目行に自動保存	**項目文字データは項目行に自動保存しない**
	項目行に自動保存しているデータは削除できない プロパティボタンから項目データを追加できるが削除できない インポートボタンから項目ライブラリ保存データを選択できる 	**項目行に自動保存しているデータを削除できるボタンを追加** **※項目行番号右クリック－プロパティを選択** **項目域のプロパティ内データタブを選択、右側に削除ボタンあり** **※項目号にデータ保存しないため、プロパティボタン、インポートボタンは削除** 

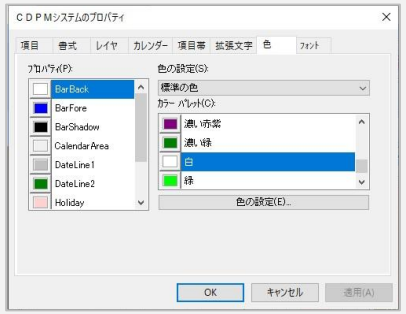
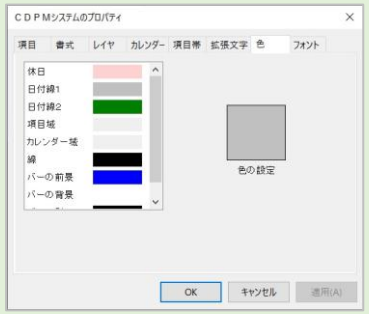
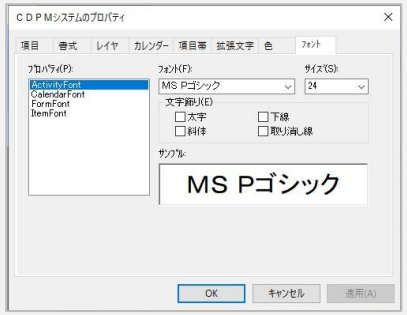
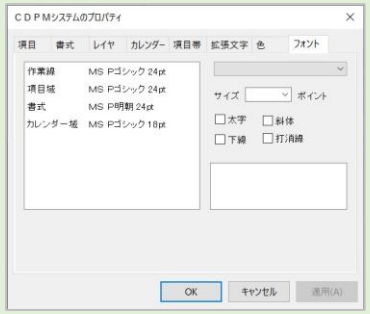
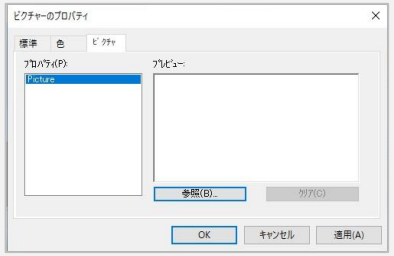
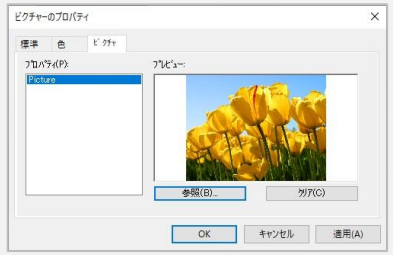
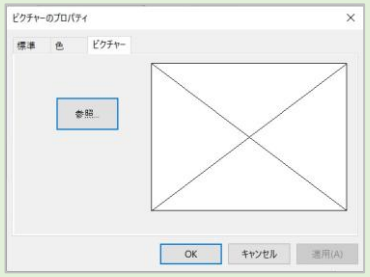
CDPM-Xsp3とCDPM-X64比較一覧表

	CDPM-Xsp3	**CDPM-X64**
機能	CDPMシステムのプロパティ内項目タブ、新規プロジェクトのプロパティ内項目タブから項目マスターデータを選択し、新規作成データに利用  	**項目マスターのデータを新規作成データに利用しない**  
	CDPMシステムのプロパティ内書式タブ、新規プロジェクトのプロパティ内書式タブからカスタム書式のデータを選択し、新規作成データに利用  	**カスタム書式のデータを新規作成に利用しない**  
	リボン－データタブ内全体オブジェクト挿入ボタンからオブジェクトを設定した後、新たに入力する作業線に設定したオブジェクトを自動挿入 	**リボン－データタブ内全体オブジェクトの挿入ボタンを削除** **※作業線にオブジェクトを挿入する機能を削除**

CDPM-Xsp3とCDPM-X64比較一覧表

	CDPM-Xsp3	**CDPM-X64**
機能	作業線にオブジェクトの挿入可能  	**作業線にオブジェクトを挿入する機能を削除** 
	結合点にオブジェクトの挿入可能  	**結合点にオブジェクトを挿入する機能を削除** 
	 	リボン－ヘルプタブ内登録解除、CDPMチャンネル、Json情報ボタンを追加 **※登録解除はパソコンの入替などの際に端末を解除するボタン** **※ユーザー登録、サービスサイト、XML情報の各ボタンは削除**

CDPM-Xsp3とCDPM-X64比較一覧表

	CDPM-Xsp3	**CDPM-X64**
機能	32bit（マイクロソフト社提供共通ライブラリ）色タブ 	**64bit用　色タブを独自開発　日本語表記に変更** 
	32bit（マイクロソフト社提供共通ライブラリ）フォントタブ 	**64bit用　フォントタブを独自開発　日本語表記に変更** 
	32bit（マイクロソフト社提供共通ライブラリ）ピクチャータブ  	**64bit用　ピクチャータブを独自開発** 

CDPM-Xsp3とCDPM-X64比較一覧表

	CDPM-Xsp3	**CDPM-X64**
全てのプロパティシート	マイクロソフト社提供共通ライブラリを使用	**プロパティシートを独自開発**
元に戻す/やり直す	工程データと書式データを切り離し、それぞれ25操作をカウント	**工程データと書式データを合わせて25操作をカウント**
プロパティ OK/キャンセル/適用	適用ボタン・キャンセルボタンは統一されていない	**各プロパティ設定変更後、適用ボタンでデータに反映し画面上で確認、キャンセルボタンで設定を解除**